

無事に卵がかえるかな？

10/29

本川根小学校3年生がアマゴの人工授精を体験しました

本川根小学校の3年生11人が、寺馬にある梶山雅史さんのアマゴの養殖場で人工授精を体験しました。

体験授業の一環として行われた今回の活動は、毎年同校が大井川に放流している稚魚がどのように育てられるのかを見てみようとして実施されたものです。

いけすから取り出された30センチほどのアマゴを手にとった児童たちは、梶山さんの手ほどきを受けながら人工授精に挑戦しました。

今後は稚魚が成長していく過程も観察していく予定とのことです。



●魚のめめりに苦戦しながら慎重に卵を取り出す児童

晩秋の温泉街、にぎやかに

10/26

寸又峡温泉にて奥大井もみじ祭が開催されました

本格的な秋の到来に合わせて、毎年恒例の奥大井もみじ祭が寸又峡温泉イベント広場にて開催されました。

当日は、「和紙のあかり展」各部門賞の表彰式が行われたほか、会場内には受賞作品が展示されました。

また、表彰式の終了後には赤石太鼓と手筒花火の競演も披露され、山あいにも勇壮な太鼓の音が響きわたるなか、手筒花火の火柱が暗闇に吹き上がる幻想的な雰囲気が来場者を魅了していました。



●展示された入賞作品と赤石太鼓を楽しむ来場者

10/31

安全な登山への貢献に感謝

光小屋管理人を40年務めた原田さん夫妻に感謝状を贈呈



●感謝状を受け取る原田さん夫妻

今シーズンまでの40年間、県営光小屋の管理人を務められた原田臣久さん・恵久子さん夫妻に対し、町から感謝状が贈呈されました。

原田さん夫妻は、南アルプスエコパーク核心地域付近に位置する光岳の山小屋にて、夏山シーズンの管理人として登山者を見守り続けてきました。

また、小屋の管理だけでなく小屋利用者の食事の準備や周辺登山道の修繕なども担い、登山者の安全確保に貢献されました。

当日は、鈴木敏夫町長からお二人へ、ねぎらいの言葉とともに感謝状が贈呈されました。

10/27

木に親しむ一日体験

桑野山貯木場でモクモクたいけんが実施されました

木とふれあう体験会「モクモクたいけん」が今年も実施されました。

参加者は川根本町林業研究会会員の指導を受けながら、町内から切り出した杉の木をノコギリやチェーンソーで切る体験を行ったほか、地域おこし協力隊員による簡易製材機での角材作りや薪割りを見学、太い木が簡単に割れていく様子に驚きの声を上げていました。

そのほか、製材した杉板に絵を書いて自分だけの時計を作るなど、木の魅力を堪能する一日となりました。



●チェーンソーの前にノコギリでの丸太切りに挑戦

今度は家でもやってみよう？

11/7

三ツ星保育園親子料理教室が開催されました

高郷の生活改善センターにおいて、三ツ星保育園の年長児13人とその保護者が参加しての料理教室が開催されました。

川根本町健康づくり食生活推進協議会の指導のもと、親子で協力しながら鯖のドライカレーや麻婆春雨などのメニュー全4品を完成させました。

教室の参加者からは「普段は家事で忙しいので、このように親子で料理ができる機会を大切にしたい」といった声が聞かれました。



●包丁の使い方を教えてもらいながら材料を切る園児たち

川根びと集まれ笑顔の演芸会

10/27

文化協会発表会が開催されました

文化協会主催による芸能発表会が今年も開催されました。

舞踊や演奏など様々な演目が披露されましたが、今回は「川根びと集まれ」というテーマにもあわせて島田市川根町からの出演もありました。

文化協会の大下事務局長は「今回は十数年ぶりに川根町の団体に参加してもらうことができた。川根はひとつということでも今後も文化交流を続けていきたい」と話しました。



●当日は全部で24の演目が披露されました